

笑顔あふれるまち 飯南町

IINAN

い-なん

2023

11

No.227



YOHAKU ARIMASU
INANCHO

あります 飯南町

特集 小さな^{ファン}一歩の原動力。不安よりもFUNであれ。



「正直、完全によそ者の私を受け入れてくれたことにびっくりしました。まさに『来るもの拒まず』って感じ」と内田さん。「聞き取り前に、私の正体と目的をお知らせしていたとは言え、当日まで私がどんな人間か分からないです」と続けます。

「もともと赤名連坦地に目を付けたのは、自動運転車両『いっくやん号』が走っていたからなんです」と内田さん。幼い頃から、地元鳥取県大山町で、誰も乗っていないバスが走っているのを目の当たりに。「公共交通」に関心を持つようになったと言います。

内田さんはどんな人なのだろう。どんなことを考えているのだろう。なぜ、この地を選んだのだろう。そう感じた人が、たくさんいるはずですよ。今なお、赤名連坦地に人が住み続ける理由、地域が維持されている理由は何なのか。「それを探るのが私の卒業研究なんです」と話します。

「どれもこれも、聞き取りで分かったこと。おもしろい発見もありました」と内田さん。令和6年3月9日(土)の「飯南ラボフォーラム」で調査結果を報告する予定です。

赤名連坦地に内田さんが現れたのは、令和5年9月。約1カ月間で、連坦地とその周辺のお宅を100件訪問。ペンとバイナダーを手に、住み心地や日常生活、赤名の未来像などを事細かく聞いて回りました。

「公共交通」をテーマに研究しようとしたところ、作野教授からアドバイスが。「せっかくなら、公共交通と、地域での暮らしの2つの観点で研究してみてもいいのでは」というものでした。今からおよそ100年前。赤名連坦地には、商店や旅館、病院が約70軒立ち並び、町中を歩くだけで生活に必要なことが揃っていたそうです。

「驚愕の精神」来るもの拒まず

発見の連続「心強い生の声」



若者、バカ者、よそ者……。そんな単語が、中山間地域を漂うようになったのはいつからか。誰かが動くのを、ただ待っているだけでいいのだろうか。待っているだけじゃ、何も始まらない。

小さな一歩の原動力。 不安よりも、FUNであれ。

ゆか
内田有香さん(22歳)
島根大学教育学部社会科教育専攻地理学ゼミ(作野教授)所属。山陰の中山間地域に足を運び、地域の現状調査や「いいところ探し」に奮闘中。馬術部に所属したり、愛車のバイクを乗り回したりするアグレッシブな大学4年生

今日も勃発「井戸端会議」

「おー、また来たんか。次はいつ来るんかいな」。そんな声が、赤名連坦地に響きます。
「次は11月に。赤穴八幡宮のはやしにお邪魔しようかなと思ってきます」と内田さん。いつもここに来ると、顔馴染みの人と道端で立ち話になるのだそう。「ひよっとしたら、昔は連坦地の至る所で、井戸端会議が勃発していたのかもしれないね」と続けます。
少しして手元の時計を覗く内田さん。「あ、もうこんな時間。今日はこの辺で失礼します。次の予定があるので」とお辞儀し、この場を後に。姿が見えなくなるまで注がれる視線に、いつの間にか温かさを感じるようになりました。



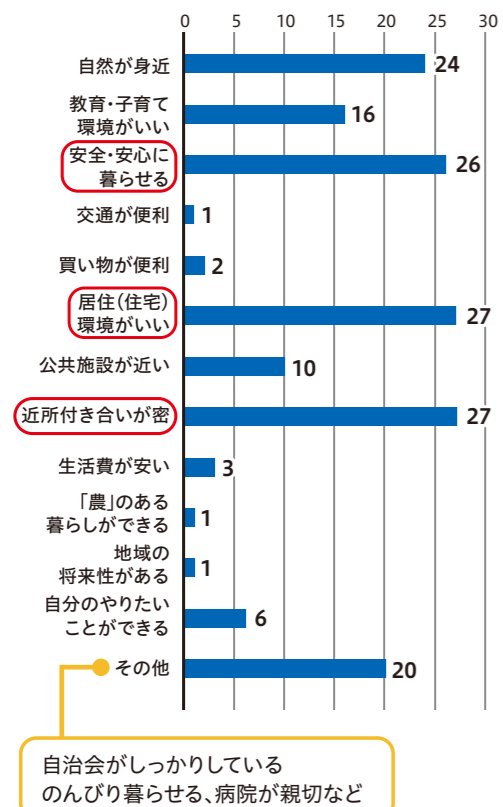
内藤さん(右)宅ではコーヒーで乾杯。他愛ない話に真剣な話。今日も長居の内田さん



毎回違う話題で盛り上がる2人。日高さん(左)宅の縁側から響く笑い声

住みやすい点(複数回答)

近所付き合いが活発で、おしゃべりしたり、助けあったり。車を持っていない人を乗せてあげたりすることも

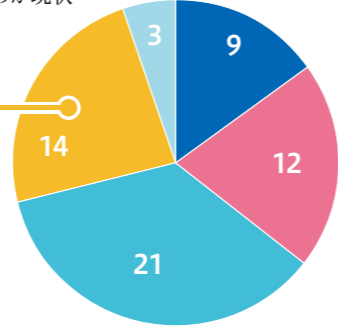


自治会がしっかりしているのんびり暮らせる、病院が親切など

帰還希望

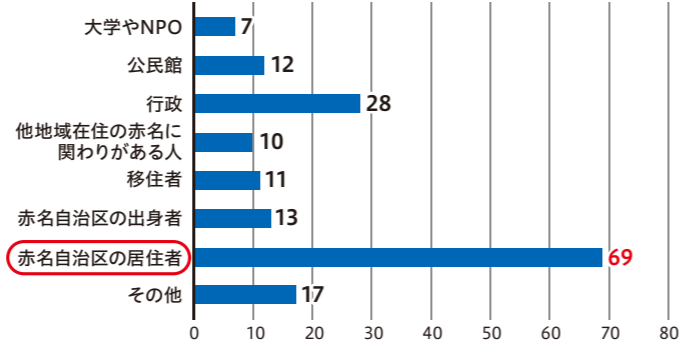
農地を持つお宅が少なく、「継ぐものが住居しかない」という特徴も。跡継ぎに「帰ってきて」と強く言えないのが現状

帰ってきても生活ができない
働く場所がない
医療・福祉の面が心配



赤名を持続させるための主体

人が減り、空き家が増える赤名連坦地。暮らしを維持するために、誰が動くべきか。「居住者」という回答が大多数



「ワクワク」に勝る力はない

想いをカタチにするのは、簡単ではありません。では、どうすればいいのでしょうか。そんな問いを、「ワクワクする社会づくりを目指し、異動する公務員」、吉弘拓生さんに投げかけました。

飯南町初上陸。まちづくりのアイデアにワクワクが止まらない。

私が初めて飯南町を訪れたのは令和元年の10月でした。飯南町が主催する人材育成講座「ヒトカラ」に講師としてお邪魔したんです。

「役場と住民の距離がものすごく近い」というのが第一印象で、住民と役場職員が一緒になって学ぶスタイルは衝撃でした。

約半年の講座の集大成で、参加者のまちづくりのアイデアを聞いた時、「この先どう進化していくんだろう」というワクワクが止まりませんでした。そんな矢先、新型コロナウイルス感染症が拡大し、アイデアを行動に移すタイミングでブレーキがかかったのを覚えています。

アイデアには1円の価値もない。行動して初めて価値になる。

最近、飯南町以外でも講座を持つことが増えてきました。「こんなことをやりたい」と思う人はものすごくいるんですけど、それを行動に移す人が1パーセントもいません。まちづくりに対して意見を言うことが目的になっている感じです。

そこで、「どんなふうにやってみますか」と問うと、「えっ」みたいになることも。理想だけを語る「絵に描いた餅」で終わっていることが多いです。

そもそもアイデアに価値はないんですよね。それをやってみた結果が良くても悪くても、やってみたことに価値があるんです。だから「こうあったらいいな」って頭の中で考えるだけだと、何も変わらないですよ。

自分に身近なところからやってみる。いつの間にか仲間が集まってくる。

いきなり理想まで行こうとすると、かなり抵抗が出てきます。でも、自分の暮らしに身近なこと、大切な誰かのためだったら、きっと行動するはずですよ。

私の例だと、森林セラピーの立ち上げです。実家が製材所で、幼い頃から「材木が売れなくなる」「安くなる」



「飯南町ってなんかおもしろい。いい意味でまちがつくられてないのかも」と吉弘さん(ヒトカラ)

たくお
吉弘拓生さん(41歳)
(一財)地域活性化センター新事業企画室長。総務省地域力創造アドバイザー。内閣官房地域活性化伝道師。内閣府企業版ふるさと納税マッチング・アドバイザー。浮羽森林組合、うきは市役所を経て、群馬県下仁田町副町長(史上最年少)を務める。福岡県久留米市出身



みたいな話をずっと聞かされていたんです。そこで、森林セラピーを導入すれば、木が立っていることに価値が生まれるし、歩いた人の健康につながっていく。そんな仮説があったんです。わざわざつくるとかはなくて、あるものをどう活かすか。

でも、初めは99パーセントの人が反対で、「そんなことはどこかの誰かがするものなんだ」って。でも、どうしてもやりたいから1年ぐらいかけて、いろんな人と話をしました。ある時、地区の集まりで、一番反対していた区長さんが「おれたちも何かせんといかんんじゃないか。今日からおれは応援しようと思う。自分たちが行動せんと、村がなくなるっちゃんやろうか。どげんね?」って。それから、みんなが前向きに考えるようになりました。可能性が少しでもあるなら、やってみるべきじゃないですかね。

自身の未来、まちの未来をどうしたいですか?

皆さんは、コロナ禍の3年間をどう過ごしましたか。これから数年間をどう過ごしていきたいですか。コロナも明けて、いい意味でゼロベースです。

別に大きくなくても、ちょっとしたことでいいんです。家のこと、自分自身のこと。でも、そこに「ワクワク」を忘れちゃいけない。

自分がどうありたいか。地域をどうしたいか。それを他者に話して、一人でできないことを誰かとやっていく。それが、まちの未来を切り拓くことにつながるのではないでしょうか。



大学に戻って参考文献を漁る内田さん。なんだか赤名のまちが恋しそう



「乗るならバイク。見るなら車」というほどの旧車好き。かつこよすぎてついパシャリ(昭和の車 in 飯南町)



赤名地区のイベントに徹底参加の内田さん。今日は「銀山街道ウォーキング」で大好きな歴史を紐解きに

「楽しい」がもたらす好循環

これからの暮らしを維持するために「居住者」が動くべきと答えた人が大多数の赤名連坦地。「でも、動く人はいつも同じということも明らかになりました」と内田さんは話します。

暮らしを維持するために何をすればいいか。「こんなふうにも考えたら、急に頭も体も動かなくなりそうですよね。私だってそうなります」と内田さん。「だから、もっと身近なところで、楽しいことから始めればいいんじゃないですかね」と続けます。

「家から出て誰かと話してみたり、ちょっとしたイベントに参加してみたり。麻雀だっでもいいじゃないですか。小さなことでも、積み重なれば大きな動きになるはず。それが結果的に、地域のにぎわいや見守りにつながっていきそうです」。



大学で本格的に始めた馬術。馬とうまく意思疎通できた時の気分はまさに「FUN」



卒業論文の制作もいよいよ大詰め。友達とおしゃべりしながら指先はフル稼働

大学に戻る「飯南ファン」

内田さんにとって、長いようで短かった1カ月間。お世話になったのは、赤名連坦地の人たちだけではありませんでした。町内のお店に連れて行ってもらったり、家でお酒を飲ませてもらったり、泊まらせてもらったり。「来るもの拒まず」は、飯南町全体に根付いていると実感したそう。

「その雰囲気をごんごん活かしていけば、もっと素敵なおまちになるはずですよ。私自身、飯南町のFAN(ファン)になりました」と話します。

もともと人と話すのが大好きな内田さん。なぜかというところ、知らないことに出会えるのが楽しいから。「飯南ミライばなしで、久しぶりに皆さんに会えるのを楽しみにしています」と言っていて、赤名連坦地を後にしました。

まちづくり座談会 飯南ミライばなし

～「いつか」じゃなくて「今」話そう!自分とまちの未来の話～

[事前説明] 飯南町総合振興計画とこれまでの取組

[グループセッション] になりたい自分と飯南町の姿(10年後)ミライの姿のためにすべきこと

[意見交換] 町長との意見交換

参加募集

11/27 月
19:00~21:00
谷笑楽校

11/29 水
19:00~21:00
頓原みせん

12/1 金
19:00~21:00
来島交流センター

12/8 金
19:00~21:00
赤名改善センター

12/18 月
19:00~21:00
さつき会館

どの日程で参加してもOK!



web申込フォーム

●定員:30名程度(1会場) ●申込方法:web申込フォーム、電話(76-2864)、FAX(76-2221)、役場窓口。当日参加可



少年の主張島根県大会
澤田煌明さんが青少年育成
島根県民会議会長賞を受賞

9.28
木

令和5年度「少年の主張島根県大会」で、澤田煌明さん（赤来中3年生）が青少年育成島根県民会議会長賞を受賞されました。

大会には、県内各地区から選ばれた16人が参加。澤田さんは、「私の存在証明」と題して、活弁の活動をテーマに、人との関わりの大切さを主張しました。

澤田さんは受賞できたのは、自分一人の力ではなく、地域の皆さんの助けや支えがあったからです。感謝の気持ちを伝えたいです」と話していました。



身振り手振りを交え、自身の想いを伝えます



広げよう地域の輪
頓原公民館まつり

10.15
日

交流センターとんばらを会場に「第18回頓原公民館まつり」が開催されました。ステージイベントでは、オカリナやサクソス演奏、活弁、ダンスなどが披露されました。他にも、会場内では中学生によるeスポーツ大会、短歌や書道などの作品展示、骨密度測定、フリーマーケットなども催され、盛り上がりしました。

来場者からは「音楽の発表だけでなく、展示品も多く楽しむことができました」との声が聞かれました。



屋外にも飲食を中心とした出店がありにぎわいました



国税庁長官納税表彰
伊藤隆さんが受賞

10.25
水

（有）一福の伊藤隆さん（頓原）が「国税庁長官納税表彰」を受賞されました。

伊藤さんは、中国地方法人会連合会理事、（二社）島根県法人会連合会副会長、（公社）雲南法人会会長などを歴任。団体の活動を通じて、納税制度の普及発展に努め、納税道義の高揚に寄与されました。

伊藤さんは「法人会に携わり約30年。法人会の皆さんと努力してきたことが評価されて光栄です」と話していました。



秋晴れの志々を仮装で歩く
志々ハロウィンさんぽ

10.29
日

志々未来会議実行委員会と志々を元気にする会が主催する「志々ハロウィンさんぽ2023」が開催されました。

3回目となる今回は、思い思いの仮装に身を包み、大人から子どもまで約60人が参加。地区内を散歩する途中で、箱の中身を当てるゲームや、水鉄砲での当てをしたりと散歩以外の内容もあり参加者は盛り上がりました。イベントの最後には、さつき会館横の志々未来ひろばで、音楽に合わせてダンスを行いました。



仮装もダンスもかわいらしく



自分で作る楽しさを感じて
みんなの来島プロジェクト主催「みんなきじカーニバル」

10.21
土

みんなの来島プロジェクト主催「みんなきじカーニバル」が来島交流センターで開催されました。

会場には、花と雑貨、アクセサリ、コーヒーなどのお店が出店。ミニ盆栽やしめ縄づくり、お米の食べ比べなどの体験コーナーもあり、親子連れなど多くの人が来場し、体験や飲食を楽しみました。

今回のイベントには、飯南町主催の人材育成講座「ミライツクルプログラム」の受講者も企画したブースを出展し、来場者を楽しませていました。



プラモデル作りなど、集中して体験に取り組む姿が見られました



今、私たちにできること
道の駅赤来高原防災セミナー

10.24
火

道の駅赤来高原を会場に「防災セミナー」が開催されました。

このセミナーは、飯南町と相互協力に関する連携協定を締結している江崎グリコ(株)と道の駅赤来高原が共催。日本栄養士会の下浦専務理事とグリコの松浦管理栄養士が「栄養士目線での災害への備えの重要性」などを講演されました。

会場の外には、日本栄養士会災害支援チームの災害支援医療緊急車両や特別栄養食品などの展示も行われました。



参加者からは災害への備えの疑問や、展示された車両等への質問がありました



飯南町の歴史を振り返る
「飯南町ちよっと昔の思い出ばなし」

飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会が飯南町の歴史本「飯南町ちよっと昔の思い出ばなし」を発刊しました。

同会として3冊目となる歴史本は、飯南町の南北の両トンネルが開通した昭和30年代に焦点を当て、生き生きと暮らす人々の姿や、変わりゆくまちの様子を後世に残すことを目的に、同会の歴史文化部会が執筆されました。

多くの皆さんにご協力いただき、たくさんのお話や、昔懐かしい

写真が集まり、大変貴重な歴史本になりました。

飯南町立図書館、町内公民館にて12月から貸し出しが可能になります。また、道の駅や大しめなわ創作館などでも閲覧することができます。ぜひご覧ください。



いいなんナビからダウンロードできます



執筆した歴史文化部会の皆さん



挿絵やイラストはラムネMILK堂の安藤夏樹さんが担当



同社の瀬戸松江支社長(右から5番目)や職員の方々と

10月19日に明治安田生命相互保険会社から寄付金(601,000円)の目録贈呈があり、塚原町長から感謝状を手渡しました。

同社は「私の地元応援募金」として、全従業員が出身地などのゆかりのある地域の自治体などに募金し、会社からの寄付を上乗せし、自治体に寄付されています。

この度の寄付金は、町民の皆さんの健康増進に活用させていただきます。ありがとうございます。

明治安田生命相互
保険会社に感謝状
を贈呈

10月19日(木)



興味津々に見学する学生

本町と包括的連携協定を結んでいる島根県立大学松江キャンパスの学生が、飯南町民俗資料館を見学しました。

民族文化を学ぶ約30人の学生は、授業の一環として本町に來町。初めて見る民俗資料と持ちこんだ資料と見比べていました。学生からは「教科書でしか見たことのない資料ばかりで、本物を見られてよかった」などの声がかれました。

事前に連絡をいただければ、教育委員会職員が民具の解説をしますので、興味があればご連絡ください。

島根県立大学の
学生が民俗資料館を
見学

10月28日(土)



お揃いの法被で出迎えていました

本町の農産物や特産品、観光施設等を町外の多くの人に知ってもらうためのアンテナショップ飯南町交流物産館「いまる」まるシェ(三次市)で「10周年記念イベント」を開催しました。

当日は「赤来高原観光りんご園のりんご詰め放題」「飯石森林組合の舞茸詰め放題」「飯南米こしひかり先着100名プレゼント」などの催しを開催。この時期ならではの農産物を目当てに、多くの人が訪れました。

「いまる」シェ10周年
記念祭

10月28日(土)



しめ縄づくり体験が人気

本町が地域活性化包括連携協定を結んでいる(株)AKOMEYATOKYO(お米を中心とした食品・雑貨店)の店舗で「飯南町フェア」を開催しました。

会場では、特産品販売、しめ縄づくり体験、ふるさと納税のPRなどを行いました。

来場者からは「日頃から飯南町のお米を購入しており、フェアを楽しみにしていた」「出身者なので懐かしい味が購入できて嬉しい」との声が聞かれました。

本町エコロジー米推進協議会による新米食べ比べもあり、都市部の消費者と交流を深めながら、まちの魅力を紹介しました。

東京都内で
飯南町フェアを
開催

10月28日(土)
29日(日)



鮮やかな紅葉の中
紅葉祭



170人を超える皆さんが清掃活動

志津見のうぐいす茶屋周辺を会場に「紅葉祭」が開催されました。

やまめの塩焼きやぜんざいなどの販売があり、来場者が列を作りました。また、会場周辺には、平成16年から紅葉を植樹。県内外からの来場者は、自ら植樹したもみじを探し、肥料をあげたり、手入れをしたりしました。

4日には、CSR活動(社会貢献活動)を実施。町内外から30の企業や団体が参加し、草刈りやゴミ拾いなど清掃活動が行われました。



鎌やほうきで落ち葉や草をきれいに



多くの来場者が、紅葉やおいしい食べ物を楽しみました

11.4(土)
~11.5(日)

文化を感じる一日に
来島地区文化祭

来島交流センターで「第43回来島地区文化祭」が開催されました。

ステージ発表は、来島保育所の銭太鼓から始まり、来島交流センターで活動されている団体、サークルが普段の練習の成果を披露。最後は赤来中学校・飯南高校吹奏楽部の演奏で賑やかに文化祭を締めくくりました。

他にも健康に関するブースや保育所、小学校の作品、編み物作品展示や公民館運営委員でのお茶席もあり、多くの来場者で賑わいました。



フラダンスグループ「アロハローゼiin」の発表

11.3
金祝

思い出話で会話が弾む
第61回近畿島根県人会総会

近畿地方在住の島根県出身者で構成される近畿島根県人会の「第61回総会」が大阪市内で開催されました。

今年も飯南町・出雲市・雲南市の出身者で構成される会員が懇親会を企画。催しでは野見宿禰赤名相撲甚句会の皆さんが、会場全体に響き渡る淡い声で相撲甚句を披露し、会場を沸かせました。

出席された近畿飯南会の張戸会長は「盛大に開催できてうれしく思います。今後も島根を盛り上げていきたい」と話していました。



会場は和やかな雰囲気となりました

11.11
土

赤名地区「こども広場」オープン

11月4日(土)

赤名ふれあい公園に整備を進めていた赤名地区「こども広場」が完成し、オープニングイベントを開催しました。
 参加した子どもたちは、思い思いに遊具で遊び、広場を駆け回っていました。それを見守る保護者や地域の皆さんは、一緒に遊んだり、ベンチで歓談したりする姿もあり、温かい雰囲気となりました。
 こども広場に設置しているベンチや鳥の巣箱は、10月21日に、赤名小学校の児童や参加した親子が製作したものです。



環境に優しい風船を飛ばしてオープンを祝いました



新しい遊具を満喫し、笑顔が溢れます



初めて工具を使って、気をつけながら作りました

ふるさとチヨイス大感謝祭に出展

11月11日(土) 12日(日)

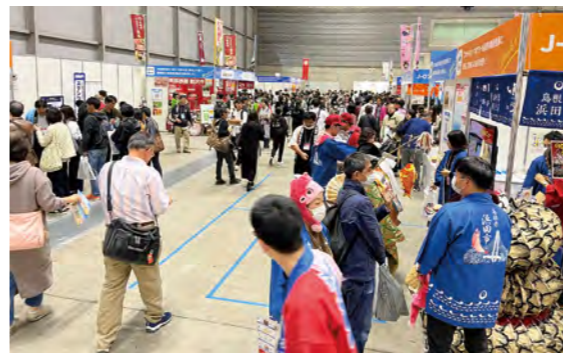
ふるさと納税寄附者と自治体との交流を目的とした「ふるさとチヨイス大感謝祭(横浜市)」に出展しました。
 イベントには2日間で約1万5千人が来場。各自治体は特産品の試食や販売、体験コーナーなどを通して、魅力を発信しました。
 本町は飯南米を中心に、まちの魅力を紹介。使用済の米袋で作るエコバッグづくりや新米販売を行いました。
 今後もまちの魅力などを発信し、寄附の増加に向けて、取り組みます。



じっくりと話をしながら飯南米の魅力を伝えました



珍しい米袋のエコバッグづくり。多くの来場者が楽しめました



全国から100を超える自治体が参加。魅力をアピールしました



令和5年度 飯南町功労者表彰

令和5年度

●松原 操さん(民生功労)

平成19年から令和4年までの15年間、民生児童委員として、地域福祉の充実に努められました。
 地域住民の皆さんに良き相談役として信頼され、民生の安定と社会福祉の向上に寄与されました。令和元年から3年間は、本町民生児童委員協議会長を勤め、地域福祉の推進・発展に尽力されました。



●故景山 道夫さん(民生功労)

平成22年から令和5年までの12年3カ月間、民生児童委員として、地域福祉の充実に努められました。
 地域住民の皆さんに良き相談役として信頼され、民生の安定と社会福祉の向上に寄与されました。令和4年からは、本町民生児童委員協議会長を勤め、地域福祉の推進・発展に尽力されました。



●森口 安信さん(民生功労)

平成22年から令和4年までの12年間、民生児童委員として、地域福祉の充実に努められました。
 地域住民の皆さんに良き相談役として信頼され、民生の安定と社会福祉の向上に寄与されました。



●松下 清之さん(民生功労)

平成20年から令和5年までの15年間、知的障害者相談員として、地域福祉の充実に努められました。
 地域住民の皆さんに良き相談役として信頼され、民生の安定と社会福祉の向上に寄与されました。



●門脇 勝一さん(郷土文化功労)

平成29年6月から現在まで、武名ヶ平城跡を中心とした周遊ルートの開拓など、地域の歴史遺産の管理と整備を行い、郷土文化の発展に寄与されました。

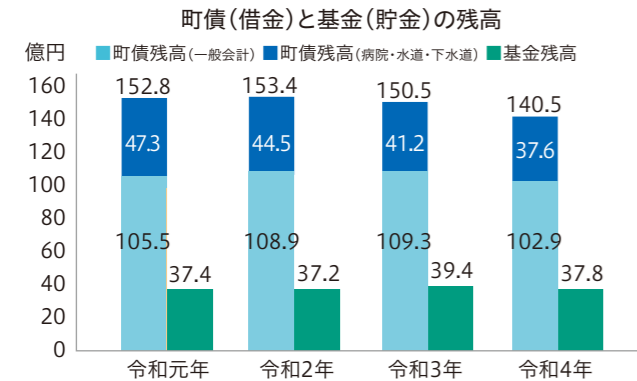


町債(借金)と基金(貯金)の残高

一般会計の町債残高は、繰上償還の実施や町債発行額の減少により、昨年度から6億4千1百万円減少しました。しかし、新庁舎の建設以降、町債残高が100億円を超える厳しい状況が続いています。一般会計でみると、本町は同じ規模の団体(類似団体)と比較して、町民一人当たりの町債残高が約2倍あり、今後も計画的な事業執行、繰上償還が必要だと考えています。病院・水道・下水道会計の町債残高は3億5千5百万円減少しています。※建物や道路、水道などの整備をするときは、国や金融機関からお金を借りて整備します。

基金は、繰上償還の財源として減債基金を取り崩すなどしたため、昨年度末から1億6千万円減少して37億8千万円余りとなりました。令和5年度以降も、基金を取り崩しながらの財政運営となると見込んでいますが、国債などの運用益も確保しつつ、各事業の財源として有効に活用していきます。

※基金には定額運用基金と国保会計基金を含む



新型コロナウイルス感染症対策経費 2億4千4百万円

令和2年度から続くコロナ禍も3年が過ぎました。「感染予防対策」として5千7百万円、「事業者等の支援」として1億1千8百万円、「地域経済の活性化対策」として6千9百万円の費用がかかりました。令和4年度の主な事業は以下のとおりです。

■感染予防対策

- ワクチン接種費用 4,875万円
- 集会施設等空調設備・トイレ改修 650万円
- 保育所感染対策用品購入 140万円

■事業者・個人等の支援

- 畜産事業者飼料価格高騰支援 3,685万円
- 福祉事業所等電気代等高騰支援 480万円
- 温浴施設燃料価格等高騰支援 432万円
- 和牛繁殖農家子牛価格下落支援 204万円
- 運送事業者燃料価格高騰支援 86万円
- 学校給食材料価格高騰支援 67万円
- 住民税非課税世帯等臨時給付金 4,256万円
- 灯油券配布事業 2,033万円
- 子育て世帯等臨時給付金 564万円

■地域経済の活性化

- 元気回復券 4,952万円
- プレミアム商品券 1,944万円

まちの財政の健康状態を表す指標

実質公債費比率(3カ年平均) 9.3% (昨年度9.4%)

家計に例えると、年収に対してローンの年間返済額が何割あるかを表しています。

3カ年平均の値は、昨年度から0.1ポイント改善しました。しかし、単年度比率は0.7ポイント悪化しています。今後は公債費の増加に合わせて指標が悪化する見込みです。大規模建設事業の実施を平準化することで、町債の年間返済額も平準化していく必要があります。

将来負担比率 44.9% (昨年度45.5%)

家計に例えると、生活費や学費、家のローン、子どもへの仕送り費用など「将来負担しないといけない費用」の合計が、年収の何年分あるかを表しています。昨年度から0.6ポイント改善しています。繰上償還を実施し、町債残高が減少したためです。

経常収支比率 96.7% (昨年度92.5%)

人件費や扶助費、借金の返済費用のように毎年度決まって支払われる経費が、税金や普通交付税などの「使い道が限定されない毎年度定期的に収入されるお金」のうち、どの程度を占めているかを表しています。

比率が100%に近くなると、自由に使えるお金が少なくなり、財政にゆとりがなくなります。物価高騰により光熱水費等の経常経費が増加したため、数値は悪化しました。

町民1人当たり・1世帯当たり

人口 4,506人
世帯 1,999世帯
[令和5年4月1日現在]

使った費用【一般会計】

1人 184万円
1世帯 415万円

負担した税金【一般会計】

1人 11万円
1世帯 24万円

借入金残高【一般会計】

1人 228万円
1世帯 515万円

借入金残高【全会計】

1人 312万円
1世帯 703万円

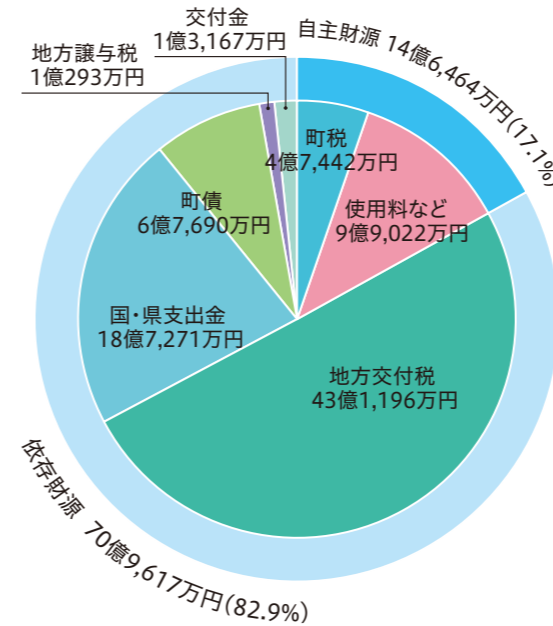
基金残高

1人 84万円
1世帯 189万円

収入

【一般会計】

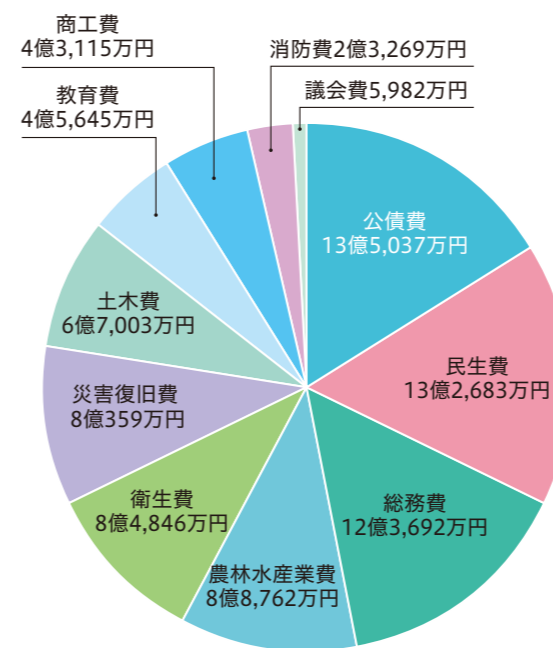
85億6,081万円



支出

【一般会計】

83億393万円



総務費…選挙、庁舎維持費、公共交通、地域振興などに使われる費用
公債費…町債(借金)の返済費用
民生費…保育所や高齢者・障がい者福祉、生活保護などに使われる費用
衛生費…予防接種や健康診断、ごみ処理、環境の保全などに使われる費用

令和4年度の一般会計と特別会計等の決算認定を9月議会に提出しました。監査委員からは、全ての会計において報告値は適正に計上されていると認められたものの、町債(借金)が依然として高水準にあることから、慎重な財政運営に努めるよう意見がありました。議会では、決算審査特別委員会を設置し、12月議会報告される予定で審査が行われています。

収入の状況

昨年度と比較して、自主財源は町税が5百万円減少したほか、ふるさと応援寄附金が2千3百万円減少、基金からの繰入金(貯金の取り崩し)は1億5千3百万円増加しました。依存財源は地方交付税が4千9百万円増加、国県支出金が6千9百万円増加、町債(借金)は5億2千7百万円減少しています。

令和4年度は、今後の実質公債費比率(支出額のうちの借金返済額の割合)の上昇を見据え、基金を取り崩し、2億5千3百万円の繰上償還を実施しました。令和5年度の予算も財源不足により多額の基金を取り崩して予算を編成しているため、一層の施策の重点化と収入に見合った財政運営が必要な状況が続いています。

令和4年度に実施した主な事業(新規事業など)

- 総務費 庁内LANサーバ更新、電子調達システム導入、旧赤名米倉庫・消防団車両庫の撤去、角井自治会館エアコン更新、道の駅頓原周辺エリア整備計画策定、町営バス・デマンドバス・自動運転車両の運行、飯南高校の支援、小さな拠点づくりの支援など
- 民生費 外出支援タクシー助成、来島高齢者冬期宿泊センター照明改修、高齢者・障がい者福祉、出産祝い金・出産応援ギフト、子ども等医療費助成、保育所運営など
- 衛生費 医療従事者確保対策助成金、各種健診・予防接種、火葬場運営、ごみ処理施設の運営など
- 農林水産業費 鳥獣被害防止、中山間直接支払、農業担い手支援、リースハウス団地整備(4棟)、農村環境改善センターみせん改修、育苗センターハウス改修、農道整備、農業基盤整備、地籍調査、町庁造林事業など
- 商工費 創業支援、観光施設運営・維持管理、赤来高原観光りんご園機器整備など
- 土木費 町道整備、道路除雪・除雪車両庫新設、町営住宅改修など
- 教育費 学習支援館運営、ICT教育の推進(デジタル教科書)、スクールバス更新(1台)、公民館事業、小中学校体育館・志ヶトレセン照明改修、谷高齢者コミュニティセンター改修など
- 消防費 消防団車両更新(2台)、防災行政無線機器整備、ハザードマップデータ更新など

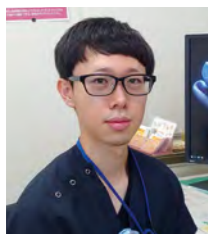
令和4年度
まちの
決算

healthycolumn
健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

飯南病院 便り
牛乳のおはなし



松江赤十字病院
初期臨床研修医
松岡秀一

10月に1カ月間、飯南病院で研修させていただきました、初期研修医の松岡秀一と申します。今回の健康コラムでは、牛乳のお話をしたいと思います。

牛乳はカルシウムをはじめとして豊富な栄養を含んでいる食品です。厚生労働省が定めている「バランスの良い食事ガイド」では、1日コップ1~2杯程度が良いとされ、これくらいの量を飲むと、他の食事と合わせてカルシウムや他の栄養を程よく摂取できます。

では、カルシウムが不足したり、逆に摂りすぎたりすると、どのようなことが起こるのでしょうか。カルシウムが不足した状態が長く続くと、骨粗しょう症や高血圧、動脈硬化のリスクが上がると言われています。

逆に多く摂取しすぎると、高カルシウム血症というカルシウムが過剰な状態になることがあります。ですが、食事だけで高カルシウム血症に至るまでには、例えば牛乳ですと2リットルほど飲む必要があります。

カルシウムの不足や過剰についてお話ししましたが、上述したように、コップ1~2杯程度の牛乳であれば、他の食事と合わせて程よい量のカルシウムを摂取でき、極端に少なかったり多すぎたりする状態には基本的には至りません。牛乳がお好きな方は牛乳を飲み、お好みでない方や牛乳で下痢やアレルギーの症状が出る方は、それ以外の食品からカルシウムを摂取しましょう。

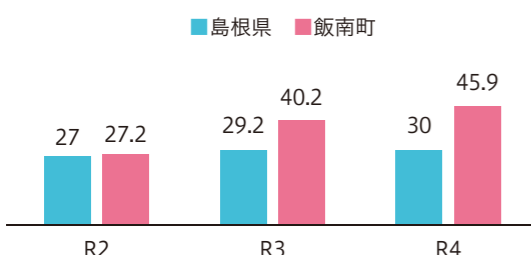
牛乳を飲む際の注意点として、多くの薬の吸収に影響しますので、牛乳で薬を飲むことは避けましょう。

今回は牛乳についてのお話でした。牛乳を含め、バランスの良い食生活を心がけましょう。ただし、病気のある方や、すでに食事の指導を受けている方はそちらに沿った食生活を続け、分からないことがあればかかりつけの病院で質問しましょう。

保健福祉センター 便り
しっかりと睡眠がとれていますか

日照時間が短くなり、「秋の夜長」を実感する季節です。脳や体は睡眠中に休むので、良質な睡眠がとれないことは、疲れを翌日に持ち越すことにつながります。本町では、「良質な」睡眠がとれていないとアンケートで答える人の割合が、島根県と比較して多い状況です。

睡眠不足の人の割合(%)



飯南町で気になる生活習慣

- 喫煙、毎日の飲酒
- 毎日間食、甘い飲み物を飲む
- 運動習慣がない、歩行速度遅い
- 睡眠不足**

※健診時のアンケート結果を島根県と比較

「良質な」睡眠を妨げる要因

- ①環境…音、照明、温度、湿度、まくらや布団を整えましょう
- ②脳の興奮…カフェイン、アルコール、たばこを控えましょう
- ③日中の運動不足…昼間のうちに気持ちよく体を動かしましょう
- ④不規則な生活リズム…昼間に活動し、夜はリラックスできるリズムを続けましょう

「すっきりと目覚め、よく眠ったと思える」睡眠時間の確保を心がけましょう

- 良い睡眠 ⇄ 生活習慣病予防
- ★睡眠不足は肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症につながり、虚血性心疾患、脳血管疾患、がんなどにかかりやすくなると言われています。
 - ★質の良い睡眠はうつ病や不安に対する回復力を高めます。

こんにちは
中山間地域研究
センターです。

コシアブラ(地方名:ばかのき)の苗木が作れるようになりました!

●中山間地域研究センター ☎76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



コシアブラと言う樹木をご存じでしょうか。飯南町では「ばかのき」と言った方が伝わるかもしれません。コシアブラはタラノキと同じウコギ科に属しており、春の新芽が山菜として美味しく食べられています。山菜特有の苦みが少ないことから、山菜の女王とも呼ばれたりします。

コシアブラは成長すると樹高が10メートルを超える樹木であり、高くなるにつれ新芽の採取が難しくなります。そのため、栽培化を希望する方が多く、全国の林業試験場で栽培化を目指し試験が行われています。しかし、未だに実用的な苗木の育成技術が分かっておりません。

この度、当センターでは、種子から育てて苗高が50センチメートルを超える苗木を育成する方法を明らかにしました。効率的な育苗技術を確認するためには、まだまだ確認すべきことは多いですが、栽培化への最初の障壁であった苗木の育成に希望が見えてきました。引き続き栽培化に向けた研究を行ってまいります。



コシアブラの苗木



栽培中のコシアブラ

■問合せ
きのこ・特用林産科
☎76-3815
●中山間地域研究センター
☎0854-76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>

住みよいまちへ
集落支援員

頓原地区
集落支援員の
那須です。

町内5地区で活動する「集落支援員」の活動や地域の取組、地域自慢を紹介します。

「住みよい地域頓原会議」の動きについて紹介します。

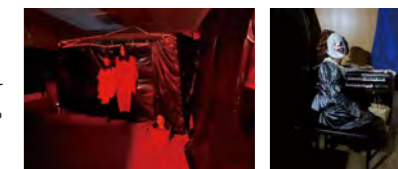
2カ月に1度、頓原地区自治会長・副自治会長による「とんぼら自治区連絡会」を開催していましたが、今年度よりこの会の名称を「住みよい地域頓原会議」と変更しました。

住みよい地域頓原会議では「小さな拠点づくり」を目的に、頓原地区の将来を見据えて、この地域のために今何をすべきなのかを協議しています。

早速委員の皆さんから率直な意見を出していただいています。今後意見交換を重ね、住民自らが目標に向かって行動していく予定です。今後は、この会の途中経過などを住民の皆さんに周知していきますので、住民の皆さんからも遠慮なくご意見をいただきたいと思っています。

頓原地区で今年度行われた住民交流イベントを紹介します。

①8月26日
「ふえふの館」
交流センターとんぼらをお化け屋敷に。凝った演出に子どもたちの悲鳴が聞こえました



②9月13日
とんぼらサロン「だんだん」
町営バスに乗って旅行気分。「鐘や」で食事会をしました



③10月15日
頓原公民館まつり
(防災展示コーナー)
多くの来場者が関心を示し、防災テントに入る人もいました





求人情報

直近1カ月に受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所 ☎76-2864
(役場まちづくり推進課内) ※表示のない市外局番は「0854」です

(福)友愛会 72-0214	
調理職員 59歳以下	フル 2人
介護支援専門員 59歳以下、ケアマネジャー、普通自動車運転免許	フル 1人
介護職員(正職員) 普通自動車運転免許	フル 4人
介護職員(臨時職員) 普通自動車運転免許	フル 2人
看護職員(正職員) 59歳以下、看護師または准看護師、普通自動車運転免許	フル 2人
介護職員(パート職員) 普通自動車運転免許	パート 2人
(株)コンビニエンス飯南 76-9290	
コンビニエンスストア店員 特になし	パート 1人
ヤンマーアグリジャパン(株)中四国支社 086-428-5151	
事務職(赤来支店) 35歳以下、普通自動車運転免許	フル 1人
オージェイケイ(株) 76-3711	
プラスチックシート製造オペレーター 59歳以下	フル 2人
嶺原精機(株) 72-0147	
機械オペレーター 特になし	フル 1人
(有)ホリエ 72-0102	
農林業機械の修理、販売 64歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
田村工業(有) 76-3511	
土木作業員・重機オペレーター及び建築作業員 64歳以下、普通自動車運転免許	フル 3人
(株)藤原建設 72-0154	
土木作業員・重機オペレーター 45歳以下、普通自動車運転免許	フル 1人
土木施工管理者 69歳以下、普通自動車運転免許	フル 1人

松田建設(株) 76-2361	
土木技術職員 64歳以下、土木施工管理経験者、2級または1級土木 施工管理技士、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
(株)後藤建設 72-0103	
建築施工管理技術者 64歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
土木施工管理技術者 64歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
現場技術員 64歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
(有)渡辺建設 76-2374	
土木作業員・重機オペレーター 64歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
(有)正木建設 76-2359	
現場技術者 64歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
土木作業員 64歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
(株)カゲヤマ産業 76-3245	
土木作業・重機オペレーター 65歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
飯石森林組合 62-1520	
森林整備従事者(ザ・モリト) 40歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 3人
技術職員(林業機械オペレーター) 40歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 2人
JA雲南地区本部 42-9000	
一般職【正職員】 39歳以下、普通自動車運転免許、募集〆切11月22日	フル 5人
飼育牛・繁殖牛の飼育管理 特になし	パート 3人
飯南町住民課 76-2213	
税務業務の事務補助、確定申告会場における受付業務 普通自動車運転免許、パソコンの基本操作	パート 1人
飯南町教育委員会 76-3944	
会計年度職員(飯南町立図書館職員) 普通自動車第一種運転免許、司書資格(業務による)	1人
飯南町公民館協議会 76-3944	
公民館主事(一般事務) 18歳以上、普通自動車運転免許、パソコン基本操作	1人

い〜にゃんPAY (電子地域通貨)運用開始

飯南町商工会と共同で導入を進めてきました「い〜にゃんPAY」の運用を開始します。「い〜にゃんPAY」は、町内消費で通貨の地域内循環を喚起し、キャッシュレス時代に対応するためのものです。運用開始にあたり「い〜にゃんPAYカード」を配布します。皆さんもぜひご利用ください。カードの受領後に利用申込が必要です。早期利用申込特典として3千ポイント(3千円分)を付与します。



い〜にゃんPAYカード

- 利用開始日 12月4日(月)
- 利用店舗 カード配布時に同封の加盟店舗一覧をご覧ください
- 利用方法 カード配布時に同封のチラシをご覧ください
- 利用申込 カード配布時に同封の「利用申込書」を飯南町役場に郵送か、スマートフォンから申込

問合せ 産業振興課
☎76・2214

令和6年度「緑の募金 公募事業」応募団体募集

「緑の募金公募事業」は、皆さんからの「緑の募金」を活用して、地域の団体や学校・保育園などが、緑化活動に取り組みます。緑化活動を通じて「住みよい地域」の実現を目指す皆さんからの応募をお待ちしています。

- 対象事業
 - ・森林整備事業
 - ・環境緑化事業
 - ・緑化普及事業
 - ・国際緑化協力事業
- 交付限度額 50万円
- 応募期限 12月1日(金) ※
- その他、詳細はお問い合わせください。

令和6年1月31日(水)

問合せ 公益社団法人 島根県緑

化推進委員会
☎0852・21・8049



島根県緑化推進委員会
ホームページ

放送大学 令和6年4月生募集

放送大学では、令和6年4月入学の学生を募集しています。放送大学は、BS放送やインターネット等を通して、心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、幅広い分野を学ぶ通信制の大学です。

働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の人が学んでいます。

出願期間

●第1回 11月26日(日)～2月29日(木)

●第2回 11月26日(日)～3月12日(火)

※資料請求は、放送大学島根学習センターへ直接請求か放送大学ホームページから(無料)

入学説明会・相談会

●日時 1月7日(日)13時～
2月25日(日)13時～

会場

出雲中央図書館

問合せ 放送大学島根学習センター
☎0852・28・5500

中国地方地域づくり等 助成事業募集

(一社)中国建設弘済会は、平成15年度から地域づくりに取り組むボランティア活動に対し、助成支援を行っています。令和6年度の事業を広く募集しています。

●助成額 助成事業1件につき100万を限度

●助成期間 令和6年4月1日～令和7年2月末

●対象 国土交通省が実施する施策や整備事業等に関連し、社会資本整備に繋がる地域づくり、環境保全及び防災等の事業

※対象外事業あり

●応募方法 応募用紙をホームページからダウンロードし、必要事項を記入し、提出

●募集期限 12月15日(金)

本事業のほか、「次世代を担う子供たちの体験学習支援タイプ」も新設されています。詳細はホームページでご確認ください。

申請・問合せ

(一社)中国建設弘済会総合窓口
☎090・3742・7271



(一社)中国建設
弘済会ホームページ

市民公開講座

「がんになっても一人じゃない 共に支えるがんピアサポート」

がんピアサポーターとは、がん治療体験者が正しい知識を身につけ、自分の体験を活かし、「同じ立場」で患者・家族をサポートする人です。今回の講座は、がん患者、その家族、医療従事者、一般市民など、がんピアサポートに興味のある人はどなたでも参加できます。

●日時 12月3日(日)13時30分～16時

●会場 島根大学医学部附属病院・雲南保健所集団指導室 など

●内容 講演「がんピアサポート」の意義・ピアサポート経験者報告・養成研修説明会

●申込 電話か左記QRコード
●締切り 11月30日(木)



がん患

問合せ 島根大学医学部附属病院
者・家族サポートセンター
☎0853・20・2545



その他詳細は
ホームページを
ご確認ください

森林セラピー通信
森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

生徒の森林セラピー研究

頓原中学校3年生の個人研究の一環で森林セラピーを取り上げてもらいました。「町民の方にもっと森林セラピーを知ってほしい」という思いから、町民限定で森林セラピーのイベントをすることに。今回は、生徒さんが自らガイド役を務め、お客さまを案内しました。当日までに実際のセラピーロードでガイド練習を重ね、いざ本番！当日は天候に恵まれ、5人が参加してくれました。ガイドの様子も落ち着いていて、参加者との談笑も。ペテランガイドでも難しい後ろ向きに歩きながらのガイドも実践していました。後ろ向きでのガイドは、お客さまの方を



向き、顔を見合うことで安心感を与えると同時に、説明が届きやすい利点があります。でも、しっかりとコースの地形が頭に入っていないと、なかなかできません。最後に参加者からの「癒されたあ〜」という感想もあり大成功に終わりました。

海外の方にも人気！

今回はシンガポール・オーストラリアのお客さまが訪れてくれました。葉も色づき始めた秋晴れの日、東南アジアとは違った森の風景に興味津々でした。

せっかくお越しいただいたので、ガイドのサプライズで森の野点会を開催。かしこまらずに和気あいあいと抹茶をいただきました。コロナ禍も落ち着き、「2つ星認定基地」として海外のお客さまからの問い合わせが少しずつ増えてきました。まだまだ通訳ありでのガイド限定ですが、飯南町の森を楽しんでほしいですね。



文化を感じるまちへ **飯南町文化協会**

事務局(教育委員会内) ☎76・3944

飯南町文化協会に加盟している団体の活動を紹介。今月は「清吟堂吟友会頓原支部・琴引第2支部」です。

清吟堂吟友会頓原支部は昭和52年、琴引第2支部は平成22年に設立しました。愛媛県松山市にある本部は、昭和28年に設立されており、70周年になります。

頓原支部は現在4人で活動しており、毎月第2・第4土曜日に交流センターとんぼらで練習をしています。琴引第2支部は、現在4人で活動しており、毎月第2・第4金曜日に来島交流センターで練習をしています。

島根県には、7つのブロックがあり、私たちは出雲ブロックで活動しています。コンクール・段位試験・記念大会などに参加しており、本部での記念大会は毎年1回開催されます。全流派の中国大会・全国大会へも出場しています。少しでも詩吟に興味のある方は、文化協会事務局にご連絡ください。私たちと一緒に楽しみませんか。



清吟堂吟友会吟士権地区大会での一枚

短歌

赤名短歌会 十月例会詠草

月光の澄み渡る夜をひそひそと庭の山茶花こぼれてやまず
秋雨降る森は青々佇みてこうたけ採る人山にも入らず
長きこと思ひしまま義姉往きぬ見送る野辺に彼岸花咲く
秋天に風の置きたるちぎれ雲心ひと文字ほどけて流る
敬老の日に夢叶い念願の津和野の旅に再びを来て
撫つること風の過ぎ去る池の面に枯れ葉ひらりと落ちて漂ふ
「内緒だよイイコトコトコト金平糖」母の色なりミゾソバの花
膝痛の悩みの解けて胸をはり朝日と共に心機一転
町長に偶然狭間の出会いあり「御立派でした」コロナメッセージ

澤田久美子 清原 豊明 吉川 映子 石田フクエ 本間 麗子 烏田 勝信 星野 敦子 門所 詠子 澤田 勝登

俳句

琴峯俳句会 十月の作品から

秋晴や子規の生れし伊予にいて
はじけたる椿の実乾す深庇
空高し五感澄ませて山に入る
秋晴や心は遠く遊ばして
ポケットの胡桃時々確かむる

安部 豊枝 石田シツカ 佐々木康子 田部智津子 朽木 豊子

寄り道は友の墓なり秋日和

爽籟や炒め玉葱透き通る
満月の照らす心の深きまで
日の落ちてよりの刈田のほひかな

松平富美子 八嶋 敏江 山崎智恵美 八嶋 昭男

今日の人権標語

令和4年度 「家族でつくる人権標語」優秀作品から
やってみよう 一日100回
ありがとう

頓原小学校4年 日高 愛夢さん
家族名 純也さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

【お詫び】
広報い〜なん10月号掲載「図書館探検」のお名前に誤りがありました。お詫びして訂正します。(誤)多田明房さん (正)多田房明さん

今日の表紙

国道54号を松江から広島方面に南下する一人のライダー。島根大学教育学部の4年生、内田有香さんです。

バイクを降りるのは、いつも決まって「道の駅赤来高原」。右手にペン、左手にバインダーを持って、体どこへやら。(2〜5ページに関連記事)



すこやかに 10月届出分
新生児 届出人 地区
鉄原 彩生 悠 平(上來島)

やすらかに 9・10月届出分
お名前 親族 地区
那須 悦子様(94) 田村淑子(川西)
安井 明江様(88) 誠(佐見)
矢飼 達子様(89) 悦子(赤名)
安井 清子様(88) 孝文(上來島)
安田 友江様(97) 勲(敷波)
田邊 昭憲様(73) 建夫(小田)

2023 12 まちのスケジュール

📖教育 + 健康・保健 🌟文化・体育 💧その他

1 金	赤来中授業公開日・卒業研究発表会 飯南ミライばなし【まちづくり座談会】(来島交流センター)
2 土	志々小開校150年記念式典【学習発表会】
3 日	
4 月	
5 火	飯南高生命地域学課題研究最終発表会(来島交流センター) 特設人権相談(役場本庁舎、保健福祉センター)
6 水	頓原中3年生個人研究最終発表会<~7日> ほっと.Café【食講座】(来島保健センター)
7 木	
8 金	飯南ミライばなし【まちづくり座談会】(赤名改善センター) 行政相談(来島交流センター)
9 土	
10 日	
11 月	
12 火	
13 水	ほっと.Café(来島保健センター)
14 木	乳児健診・育児相談(保健福祉センター)
15 金	島根県アクティブチャイルドプログラム講習会(来島交流センター)
16 土	
17 日	図書館で親子工作教室【ランプシェードを作ろう】(来島交流センター) しまね家庭の日
18 月	飯南ミライばなし【まちづくり座談会】(さつき会館)
19 火	
20 水	ほっと.Café(来島保健センター)
21 木	
22 金	2学期終業式(小・中・高) はびこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
23 土	
24 日	
25 月	固定資産税納期限 国民健康保険料納期限 後期高齢者医療保険料納期限
26 火	
27 水	
28 木	官公庁仕事納め
29 金	
30 土	
31 日	



毎日、仕事や子育てに奮闘している池田さん。韓国ドラマを観たり、出雲大社を訪れたりとストレスを溜めないようにしているそう。「特に好きなのは稲佐の浜です。夕日を眺めたり、波の音を聞いたり、癒しの時間です」と話していました

「飯南町って本当にいいところですよ。人が温かくて、子育てしやすそうだと思います。近くに住んでいるので、よく帰省もしています」と話すのは池田郁恵さん(39歳・出雲市在住)です。

「ルーツいいなん 28」
このまちに住んでいようと、なかるうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介いたします。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまで。

親になって感じること

た。希望通りに福祉介護事業所に就職し、社会人としてスタートを切った約1年、池田さんに転職が訪れます。「21歳で結婚しました。職場は退職して、夫と一緒に義父が営む会社で働くことにしました」と話します。

結婚を機に生活も職場も変わり、大変なこともあったそう。「まだまだ若い時に結婚して、子どもにも恵まれました。でも子育てはやっぱり大変です」と池田さん。そんな時は、実家の母親に相談することもあったそう。「電話もしますし、帰省した時にも相談しています」と続けます。

自らも3人の親になり子育てをす



いけだ いくえ
池田 郁恵
(旧姓:小林)

飯南町頓原出身。頓原中、飯南高卒業後、大阪の福祉系専門学校に進学。専門学校卒業後、島根県に戻る。現在は、子ども3人の母として子育てをしながら、夫の実家の営む建設会社で事務員として勤務

ることで、両親に感謝するようになったという池田さん。野球部のマネージャーをしていた高校時代を支えてくれた両親のすごさとありがたさを感じているそう。「早朝や夜遅くの送迎、お弁当など大変だったと思います」と振り返ります。

今楽しいのは娘さんとのランチや趣味での活動という池田さん。「子育てへの協力や仕事の融通を利かせてくれる家族のおかげ」と話します。「20代から子ども中心の生活。まだまだ子育ては終わりませんが、今後の自分の人生もどうなるか楽しみですし」と笑顔で話していました。

【いいしクリーンセンター】 ☎72-9217

ごみ収集日	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類	陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類	資源物	
収集地区	収集日	収集日	収集日	
頓原	頓原連坦地	25日(月)	11日(月)	20日(水)
	八神連坦地	27日(水)	13日(水)	
	連坦地以外	26日(火)	12日(火)	
赤来	赤名連坦地	18日(月)	4日(月)	27日(水)
	来島連坦地	20日(水)	6日(水)	
	連坦地以外	19日(火)	5日(火)	

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原・志々	7日(木) 12日(火)
赤名	21日(木) 26日(火)
来島	14日(木) 16日(土)

【クリーン(株)】 ☎72-1401 (頓原地域)
【クリーン(株)】 ☎76-2441 (赤来地域)

決められた日時を必ずお守りください。

町の人口 4,489人(前月比-4人) 男性2,136人 女性2,353人 世帯数2,021戸 R5.11.1 現在

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか

